

京都橋大学開学50周年記念企画公開講座

2017

6/24 (土) 13:30~17:00

■会場 キャンパスプラザ京都  
5F 第1講義室

■定員 250名(先着順)

■受講料 無料

講師

原田 信男

国士舘大学21世紀アジア学部教授

コメンテーター

阿良田 麻里子

立命館大学客員教授

司会

南 直人

京都橋大学女性歴史文化研究所所長/文学部歴史学科教授

食べるということは、単なる栄養摂取行為ではなく、  
 食事を通じて他者と関わり、それが社会や文化を形成していく基となります。  
 その意味で「共食」という行為は、歴史を考える上でも、  
 ジェンダーの問題を考える上でも重要性を帯びています。  
 今回のシンポジウムでは、東アジアの中でも独自の発展を遂げてきた  
 日本の食文化の歴史に焦点を当て、  
 この分野の研究の第一人者である原田信男氏をお迎えして、  
 「共食」という視点から日本の食文化の歴史を、  
 ジェンダーの問題にも触れつつ語っていただきます。  
 また、インドネシアの食文化の研究者である阿良田麻里子氏に、  
 比較文化的視点からコメントをいただき、  
 日本と東南アジアの食文化の相違点や共通点について  
 考察を深めたいと考えます。

アジア | 日本と

# 食の歴史と ジェンダー

京都橋大学女性歴史文化研究所  
開設25周年記念シンポジウム

